

令和元年度 消防長の目標宣言

部長メッセージ	消防長 吉川 敏勝
<p>近年の災害は、地震・台風等の自然災害や建築物の特殊な利用による火災被害の拡大など複雑多様化しています。さらに、新東名高速道の伊勢原大山インターチェンジの開通により、これまで無かった災害出動も対応することとなります。</p> <p>また少子高齢化に伴う救急要請には、一刻も早い応急手当が必要であり、市民皆さんの応急救護技術の向上を図ることで多くの命を救うことができます。</p> <p>災害を未然に防止し、災害発生時には市民の生命、身体及び財産を守るという消防の責任を果たすため、災害活動に対応する施設設備の充実や強化、職員の資質向上に努め、市民の皆さんと共に対応能力の向上を図ります。</p>	
部等の主な役割	部等を構成する課等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災予防の推進 ・ 救急体制の充実 ・ 消防施設資機材の充実強化 ・ 職員の訓練、教育の実施 	消防総務課 警防救急課 予防課 警備第1課 警備第2課

部等の取組方針	
1	<p>【火災予防の推進】 市民の防火意識の高揚を図るとともに、住宅用火災警報器設置率の向上を図り、事業所や危険物施設に対しては、防火査察指導を実施し防火対策の推進を図る事により、火災発生件数の減少を目指します。</p>
2	<p>【救急体制の充実】 市民や企業向けに、応急手当や普通救命講習会を実施し、AEDの使用方法を含めた応急救護技術の習得を進めます。また、消防職員の専門的な知識技術の維持習得のためワークショップ方式にて研修派遣し、病院と協力し救急車での搬送時の救命率の向上を目指します。</p>
3	<p>【消防施設資機材の充実強化】 消防の施設資機材の充実、機能・性能を確保するため、消火栓の設置、消防署・消防団の消防車両の更新、消防団車庫待機室の整備を進めます。また、老朽化している消防庁舎の移転についての候補地について検討を進めます。さらに、秦野市との高機能指令センターの共同運用を目指し検討を行います。</p>
4	<p>【職員の訓練、教育の実施】 大規模災害や特殊災害に対応するため、近隣市と共に訓練を実施し連携の強化を進めると共に、職員の判断力や能力を高め資質の向上に努めます。県央地区の幹事都市として地域連携協力体制の維持に努めます。</p>

中期戦略事業プラン(計画期間:平成30年度～令和2年度)「主な事業」の目標値

事業番号	主な事業	事業指標	当初水準	平成30年度実績見込値	令和元年度目標値	令和2年度目標値	所管課
18-101	消防水利施設整備事業	消防水利施設整備計画に基づく消防水利整備箇所数	1,032カ所 (平成29年度)	1,033カ所 (消火栓1基)	1,034カ所 (消火栓1基)	1,035カ所 (消火栓1基)	警防救急課
18-102	広域幹線道路対応救助資機材整備事業	救助資機材及びトンネル災害対応資機材の整備	—	機材整備	機材整備 整備完了	—	消防総務課
18-103	消防庁舎・施設整備事業	消防庁舎整備用地の取得	—	移転先検討	候補地選定	合意形成	消防総務課

※各年度の目標値は、計画策定時(平成29年度)に設定した数値です。

なお、中期戦略事業プランは、令和2年度に改訂します。